交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際・国際

留学先国名

タイ

留学先都市

バンコク

留学先大学

タマサート大学

留学先所属学部

教養学部

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年8月～2022年12月

学年（出発時）

3

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 01 / 07

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

タマサート大学は、タイで2番目に優秀な大学と言われています。日本のように偏差値があるわけではないので明確ではないですが、実際に留学してみて優秀な学生、お金持ちの学生が多いと感じました。

民主化の父と呼ばれているプリディ・バノムヤーンという方が設立した大学で、政治学部で有名な大学です。それも政治に関心を持つ学生が多く、過去にはクーデターの過程で集会を行っていたタマサート大学学生が、虐殺された事件もあります。事件当日には多くのメディアが校内に集まり、私の友達もみな追悼行事に参加していました。

私が通っていたタプラチャンキャンパスは、チャオプラヤ川の隣にあり、和な雰囲気を感じられます。またキャンパスの周辺には、王宮やワット・ポー、ワット・アルンなどの寺院があり、キャンパスは小規模ですが、タイらしさを感じることができました。

ランシットキャンパスは、タマサート大学の全キャンパスの中で一番広いキャンパスで、まるで1つの街のようなキャンパスでした。1度だけ訪れたことがあるのですが、湖や公園があり、オオトカゲが近くまで来たりと自然を感じられました。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

履修登録や学生証の発行など、全て英語で手続きを行うことができました。また所属学部、所属学科のスタッフにも英語を話せるスタッフがいたため、相談なども英語で行うことができました。

大学から外に出るとタイ語しか通じないところも多いですが、タイ語の授業が開講されていたため、特に大きく困ることはありませんでした。

勉強面でのサポート

私が受けていた授業は全て少人数制のクラスだったため、先生と生徒の距離が近く、わからないことがあると、授業中もしくは授業後に気軽に質問することができました。どの教授も優しい方ばかりで、熱心にサポートしてくださいました。

精神面でのサポート

留学期間、特に精神面で問題を抱えたことはありませんでしたが、学部や学科のスタッフや、留学生用のオフィスに相談することができます。また学内にクリニックがあるため、何かしらの症状などがある場合は、そこで相談することもできると思います。

タマサート大学にはバディ制度があり、留学生1人につき1人以上の現地学生がバディとしてつきます。そのため困ったときにはバディに相談するなどして、不安を解消することはできると思います。私のバディは2人いて、幸い2人とも密に連絡を取り合ったり遊ぶことができたのですが、人によってはバディと全く連絡を取れないという友達もいたため、当たり外れがあるのかなと思います。

生活・住居面でのサポート

タプラチャンキャンパスには寮がなく、大学の留学生用サイトに記載されているアパートのリストから自分で探し、アパートに直接自分で連絡を取る必要がありました。大学の留学生用サイトに生活面のことや、1ヶ月の平均費用などが記載されているため、それらを見ながら準備を進めることができると思います。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

住居を探す過程で特に困ったことはありませんでした。大学のサイトに記載されているアパートであれば、どこも英語でやり取りができるので特に困ることはないと思います。もし外国人用のアパートではなく、タイ人用のアパートに住みたい場合は、価格は抑えられますが、英語が通じない場合が多いので、バディや現地の友達に助けをもらう必要があるかと思います。

(2) パソコンについて

PCの保有状況

- 日本から持参した
- 現地で購入した
- 保有しなかった

Wi-Fiの有無

- 有
- 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

料金は1ヶ月250Bで約1000円でしたが、通信が不安定なことが多かったです。通信環境はアパートや部屋にもよると思います。実際に私の友達のアパートのWi-Fiはよく繋がっていたみたいです。タイのSIMはとても安く、データ無制限で1ヶ月200B（約800円）だったので、ほとんどの場合、それをデザリングしてiPadやパソコンを使っていました。

大学でのPCの使用可否

- 使用できた
- 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

- 有
- 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

コロナにかかり、病院を受診しました。加入していた保険の提携病院に行ったため、スムーズに受診と検査を終えることができました。

衛生面については、慣れていない人や、体が弱い人だと、屋台のご飯を食べてお腹を壊して病院に行っていた人もいたため、食べるものには注意した方がいいかもしれません。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開設しましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

タイの大学は学生証に銀行口座が付帯しているため、学生証発行の手続きとともに、大学の案内通り進めれば開設することができました。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

タイでは主に時間の感覚が日本とは異なると思います。タイタイムと呼ばれており、30分程度の遅刻は当たり前で、授業に遅刻してくる学生も多いです。また渋滞のため先生が遅刻してくることも多々あります。時間も含めて、全体的に緩く自由なので、そこが日本とは大きく異なる点だと思います。

タイは大多数が仏教徒であり、信仰心が深い人が多いです。そのためお寺の前を通るときには、多くの人が手を合わせてお辞儀をして通ります。日本ではあまり見ない光景なので、仏教文化に触れることは興味深いと思います。また日本とは違う宗派のため、お参りの仕方なども違っておもしろいです。

タイには不敬罪があるため、王族の悪口を行ったり、街中に王様の写真があるのですが、それを指差したりすると、外国人でも逮捕される可能性があるため、そこは注意した方が良いでしょう。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

タイ人の友達が主催しているボランティアプロジェクトに参加したことがあります。タマサート大学には、留学生が参加できるクラブ活動がないので、何か課外活動をしたければ、現地の学生と仲良くなるか、自分で探す必要があると思います。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

特に危険だと感じたことはありませんが、都会や観光地周辺ではスリなどの被害もあるので、気をつける必要はあると思います。また、タイはデモが頻繁に行われるので、大使館からの連絡をチェックして、興味本位で近づかないようにする必要があると思います。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

Instagram（タイ在住のインフルエンサーの方が何人かいるので参考にしていました）
Youtube（タイ在住の方のチャンネルで休日行きたい場所などを見つけていました）
タイ政府観光庁のHP

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

思いつくものは現地で調達でき、現地の方が安いので特に何もいらなと思います。また他の留学先だと日本食がなかなか手に入らないことも多いかもしれませんが、タイにはチェーン店の日本食レストランがたくさんあるので、日本食も持っていく必要はないと思います。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

中間、期末には、1科目10ページ以上のレポートを書いていたので、アカデミックな英語力が上がったと思います。またタイを含め、色んな国の友達ができたと留学の成果だと思います。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

IELTS 5.5

留学後－資格試験名称および点数（級）

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

トラブルは特にありませんでした。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数は30人程度で、現地学生は真面目に取り組んでいた人が多かった印象です。途中でドロップアウトしたり、旅行などで授業に来ない人もいましたが、課題などはきちんと出していました。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

大学院進学のため、していません。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1B=約3.9円

(2) 航空運賃

行き: 約8万円、帰り: 約4万円

(3) 住居費

住居費 (月額)

約26,000円

住居費 (留学期間合計)

約130,000円

(4) 食費 (月額)

約37,200円

(5) 保険料

43,730円

(6) その他

光熱費 (月額) : 約4,000円
水道代 (月額) : 約600円
交際費 (月額) : 約40,000円

(7) 留学費用の合計

約800,000円

5. その他 自由に記入してください。

タイはとても生活しやすい場所なので留学先におすすめです。またタマサート大学には、ヨーロッパやアメリカ、韓国、中国、台湾など様々な国からの留学生がいるため、タイの文化だけではなく、様々な異文化に触れることができます。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム